

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	注射抗がん薬の使用患者を対象とした HBV 再活性化対策における薬剤師の介入効果の検証～後ろ向き横断研究～
当院の研究責任者 (所属)	琉球大学病院 薬剤部 中村 克徳
他の研究機関および 各機関の研究代表者	該当なし
本研究の目的	抗がん剤を投与する前には、B 型肝炎ウイルス (HBV) 活性化を防ぐ目的で HBV キャリア及び既往感染者をスクリーニングすることが推奨されており、当院でも院内マニュアルが整備されています。しかしながら、スクリーニングの実施状況は明らかではありません。当院薬剤部の取り組みの一つとして、琉球大学病院で初めて抗がん剤投与が行われた患者さまを対象に開始前にスクリーニング実施状況を確認し、不足する項目があれば医師に測定を依頼しています。本研究では、抗がん剤を投与する前におけるスクリーニング実施率を明らかにするとともに、薬剤師が介入することでスクリーニングの実施率向上に寄与しているかどうかを検証します。
研究実施期間	研究機関の長の許可後 2025 年 10 月 31 日までの期間研究を行います。
調査データ(該当期間)	2023 年 10 月 14 日～2024 年 10 月 15 日の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま</p> <p>琉球大学病院においてレジメン登録された注射抗がん薬が初めて調査期間中に投与された患者さま</p> <p>ただし、下記レジメンは除く (GnRH 受容体拮抗薬及び LH-RH アゴニスト、レジメン登録されていない注射抗がん薬、局所投与の注射抗がん薬)</p> <p>●利用する試料・情報</p> <p>1. 対象患者さまに使用されたレジメン名とレジメン毎に登録されているすべての注射抗がん薬、投与開始日、HBV スクリーニング (HBs 抗原・HBs 抗体・HBc 抗体及び HBc 抗体 or/and HBs 抗体陽性例に対する HBV 核酸定量検査) の測定状況とその結果</p> <p>2. 対象患者さまの年齢、性別、診療科、入院/外来、薬剤師の介入日、介入後の測定日</p>

	3. 薬剤師介入後の肝臓専門医へのコンサルト状況、核酸アナログ製剤投与症例、HBV 関連検査により投与中止・延期となった症例、HBV 再活性化症例
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	提供なし
試料・情報の二次利用	本研究で取得した試料・情報の利用は、本研究のみに限り、二次利用は行いません
個人情報の取り扱い	本研究は琉球大学病院の診療録を用いたレトロスペクティブ研究であり、カルテ上の情報を調査するものです。個人情報は匿名化を行い取り扱います。調査により得られた情報を扱う際は、琉球大学病院薬剤部で管理します。論文作成時、また学会発表時においても個人が特定できる情報は一切用いません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に参加する研究者に、研究結果に影響を及ぼす利益相反はありません。
お問い合わせ先	電話：098-895-3331（内線：3596） 担当者：琉球大学病院薬剤部 大嶺 菜
備考	